

# <森のクイズラリー> 問題&解説シート 2026年度夏版

## A

Q. ここ清里は、八ヶ岳の一番高い山「赤岳」のちょうどおへそ辺り、標高1400mの場所。看板に設置してある温度計で、今の気温を調べて書いてみよう。

**【こたえ】あなたの書いた答えが正解！**

清里は標高が高いため、平地より気温が約8℃低く、10年前は8月中旬だけ半袖を着るくらい、とても涼しい場所でした。しかし近年は気温が上がってきており、以前はあまり見られなかったカマキリやカブトムシなども見られるようになり、生態系への影響が心配されています。みんなで節電などの地球温暖化対策に取り組んでいきましょう！

## B

Q. 東南アジアなど南の地域から渡ってきて、春から夏の間だけ日本（清里）で過ごす鳥「夏鳥」は次のうちどれ？

- ①シジュウカラ ②コゲラ ③ジョウビタキ ④キビタキ

**【こたえ】④キビタキ**

キビタキなどの夏鳥は、春になると東南アジアなど日本よりも南の暖かい国から渡ってきて、夏のあいだ子育てをし、秋になるとまた南の国へ渡っていきます。渡り際には、途中で力尽きたり、敵に襲われて死んでしまう鳥もいます。わざわざ危険をおかしてまで、渡る一番の理由は「食べ物」のためと考えられています。昆虫を食べるキビタキは、日本で夏前からたくさん増えるイモムシなどをヒナの餌にしているのです。そして巣立った若鳥とともに、寒さで虫が減る前に南へ帰ります。毎年、大海原を渡ってくるなんて凄いですね！

## C

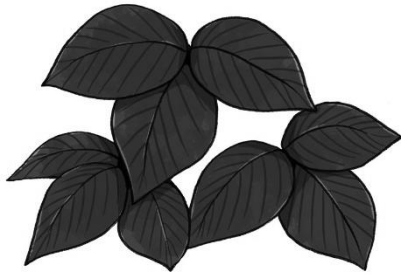
Q. 目の前の木に絡みついている「ツタウルシ」。※カブレやすいので、触らないでね！！どんな特徴があるか、実物を見てスケッチしてみよう。

**【こたえ】3枚の葉が同じ場所から出ている・つるが木にべったり張り付いている、などが描いてあれば正解！**

ツタウルシに含まれる「ウルシオール」という成分は、人が触るとカブレて強いかゆみが出たり、人によっては近づくだけで症状が出てしまうこともあります。間違っただけで触らないように、見た目の特徴をよく覚えておきましょう。

この成分は、もともと虫から身を守るためのものだと考えられています。一方で、リスやシカ、鳥などはカブレないため、ツタウルシの実を食べることができます。人にはちょっと困った植物ですが、他の動物たちにとっては大切な食べ物になっていたりします。

〈ツタウルシの葉っぱ〉



みしょう は こ  
実生（葉っぱの子ども）は  
は  
葉のフチがギザギザだよ！

D

Q. この森の足元には、ササがたくさん生えているよ。緑色のササの葉っぱを触ってみてね。表と裏でどんな触り心地か、言葉で表現してみよう。

【こたえ】 あなたの書いた答えが正解！

おもて うら さわ ごこち ちが わ  
表と裏で触り心地が違うのが分かりましたか？このササはミヤコザサと言って、裏をよく見てみると、細かい毛がたくさん生えています。この毛は、垂直に生えており、雨粒をはじくことが出来るため、雨が降っても葉っぱ同士がくっつかず、呼吸をしやすいようにしていると言われています。実は、私たちのレインコートの生地には、同じような仕組みが使われているものがあるんですよ。他にも、毛は乾燥や寒さからの保護、害虫対策などの役割があるとされています。

E

いよいよ最終問題♪ピンク色のリボンの付いた枝を見てみて！枝が不自然にたくさん生えているのが分かるかな？これは「てんぐ巣病」という木の病気です。これを子育ての巣として使っている生きものがあります。それは次のうちどれ？

- ① テング ②ニホンヤマネ ③ニホンリス ④スズメ ⑤アオダイショウ

【こたえ】 ②ニホンヤマネ

てんぐ巣病を引き起こす病原菌が感染すると、枝の一部が膨れてコブのようになり、そこから枝がたくさん生えてきます。てんぐ巣病に感染した木は、過剰に栄養を使われるため、いずれ衰弱して枯れてしまうこともあります。

てんぐ巣病は、山の神とされる天狗様の巣のようだと名づけられましたが、自然界では天然記念物の動物ニホンヤマネが、子育ての巣として使っています。コケや木の皮がたっぷり詰まったてんぐ巣病があれば、それはヤマネの巣かもしれません。もし見つけたら、そっと遠くから見守ってあげてくださいね。